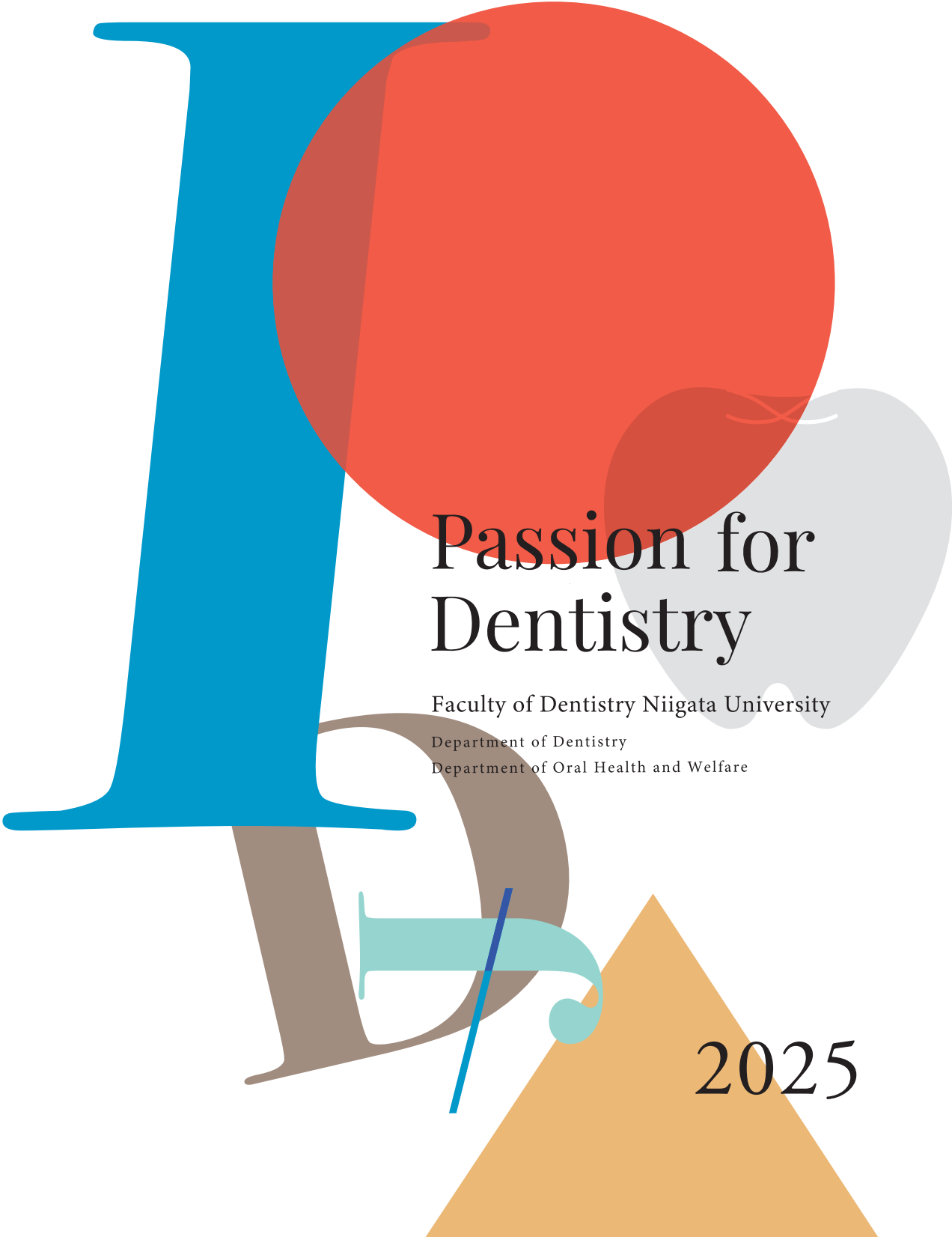




Passion for Dentistry

Faculty of Dentistry Niigata University

Department of Dentistry

Department of Oral Health and Welfare

2025

新潟大学歯学部

歯学科・口腔生命福祉学科

歯学部長インタビュー

歯科診療は時代とともに進化を続けています。

変わる時代の中で、新潟大学歯学部は、どのような教育と研究に力を注いでいるのか。

学部長の井上先生にお聞きしました。

— まずは日本の歯科医療の変化や今後の課題などについて教えてください

そうですね、現在の日本の歯科は、少子高齢化への取り組みが大きな課題になっているのではないのでしょうか。歯科診療は、高度経済成長期に行われていたような歯の形態を修復するだけの治療から大きく進化して近年の「80歳で20本の自分の歯を保つ」80/20という提言も概ね社会的に達成できるようになり成熟してきています。今後は患者さん、とりわけ高齢者の方々におけるQOL (Quality Of Life) を考えながら、「食べる」「飲み込む」「話す」「表情をつくる」など、人として豊かに生きていくために必要な機能の回復と維持を考え、口腔から健康を支えていくことが求められてきています。特に日本は世界的に見ても高齢化の先進国であり、世界の各国が日本の高齢化対策を注視しています。歯科の果たす役割は大きいと思いますね。

— その中で新潟大学歯学部はどのような教育や研究に取り組んでいるのでしょうか

新潟大学歯学部は日本で3番目の国立大学歯学部として昭和40(1965)年に設立されました。以来、半世紀以上の長い歴史の中で、知識、技術、態度の3つを一体的に学び、変わらぬ歯学本質の教育と研究、そして変化し続ける時代への対応を重ねてきました。平成24(2012)年度には、文部科学省事業の「大学間共同教育連携推進事業」にも採択され、国内外の優れた人材養成のモデルにもなっています。



— 他の大学にはない独自の特長や教育メリットがあればお聞かせください

患者さんの立場に立ちながら歯だけではなく口腔から健康を支えていくためには、多様な分野との協働が役立ちます。ここ新潟大学の旭町キャンパスには、歯学部の他に医学部、大学院、新潟大学医歯学総合病院、脳研究所などが集結しています。この環境を活かしながら、各所との共同研究や人材交流を推し進められるのは、大きな特長でありメリットになっているのではないのでしょうか。さらに、歯学部には、歯学科と口腔生命福祉学科の2つの学科があります。両学科が連携しながら、診療と保健・福祉を総合的に学ぶことができます。



— 学生にとって有意義となる教育やプログラムにはどんなものがありますか

講義だけでなく、実習を通じて多くを学べるのも新潟大学歯学部の大きな特長だと思います。特に、卒業前にインストラクターの指導の下、医歯学総合病院で実際の患者さんを診察する「診療参加型の臨床実習」は、他の大学にはない大きな経験が得られるとても重要なプログラムです。さらにグローバル社会を見据えた学生間の国際交流にも積極的に取り組んでいます。諸外国との交流を深め、各国の先端研究だけでなく、それぞれの歴史や文化を感じながら幅広い知識を持った人材の育成に力を注いでいます。その他にも、先端研究の分野では優秀な研究者が集まり、より高度な研究を進めています。歯学を学ぶには最適なプログラムが用意されているのではないのでしょうか。

Passion for Dentistry 2025

Faculty of Dentistry Niigata University
Department of Dentistry Department of Oral Health and Welfare



楽しみながら、
一緒に“その先”へ。

新潟大学 歯学部長

井上 誠

— 変化を続けるこれからの時代に向けて、どんなことに力を注いでいくのでしょうか

歯から口腔へ、単独から連携へ。一層の進化を遂げるために2つの活動に力を注いでいこうと考えています。ひとつは、歯学や歯学部の情報を適切にアウトプットし、新潟大学歯学部の魅力をさらに広めていくことです。新潟大学歯学部は面白そうだと感じていただくことはとても重要なコミュニケーションだと思うからです。そして、大学内だけに限らず異分野とのコラボレーションを進め、新たな可能性を創り出していくこと。この2つによって、教育と研究の領域をさらに広げていくことが私たちの使命ではないかと感じています。

— 歯学部で学ぶにあたり、どのようなことが大切になるとお考えですか

歯学の世界に新たな光を導くのは、強い意欲をもった学生諸君です。明確な目標を持って、様々な経験から意欲を燃やし、その先へと挑戦するエネルギーこそが口腔の健康を支える大きな力になっていくと思うからです。その傍らには一緒に悩み、笑い、励まし合う仲間たち、先輩たち、教職員がいます。どんな難題でも、楽しみながら一緒に取り組めば、必ず良い結果が生まれるでしょう。そしてそこからまた新たな気づきが生まれ、無限の面白さが見つかるはずです。新潟大学歯学部で、楽しみながら“その先”を追求していく若い力に期待したいですね。



PBL 実践の取り組み



学生自らが主体的に学びを得るPBL実践

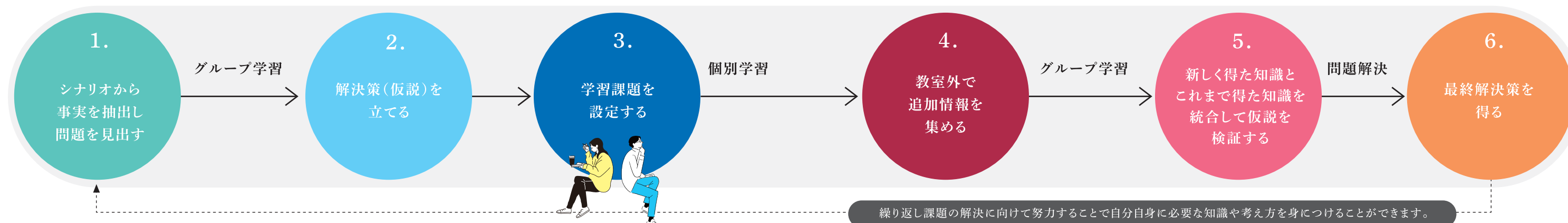
PBL(Problem-Based Learning)は、グループ学習・討議や個人学習により問題を見つけ、仮説を設定し検証。問題に対する解決力を養う学習プログラムです。

受動的に知識を詰め込む従来型の学習でなく、正解のない課題を通じて学生自らが問題の解決策を見出していく過程で、思考力・洞察力・分析力を身につけていきます。



What's PBL?

Problem-Based Learning = 問題解決型学習



事例研究例

テーマ 歯科系大学への進路

事例シナリオ

高校1年生の芳賀好子さんは新潟大学歯学部のオープンキャンパスの事前申し込みをしようと考えていました。これから進路指導の先生にも相談するつもりですが、担任の先生からは、歯学部には2つの学科があり、歯科医師、歯科衛生士、社会福祉士を目指すことができることを教わりました。でも学科の違いや、何をする職業なのか、よくわかりませんでした。歯科医院に行ったときに優しくしてくれた女性が歯科衛生士なのかなとぼんやり考えました。福祉分野に進みたいと言っている友達は、もうオープンキャンパスに申し込んだとことで、「福祉なのになぜ歯学部?」と思い、どんなところなのか少し興味が湧いてきました。

Process

1 事実を抽出し、その事実から問題を見出す

■ わからない言葉

[シナリオから分からない言葉があれば調べる]



- ✓ 歯学部
- ✓ 歯科医師
- ✓ 歯科衛生士
- ✓ 社会福祉士

■ 事実 [事実を抽出する]

- ・芳賀好子さんはオープンキャンパスの事前申し込みを検討している
- ・新潟大学歯学部には2つの学科がある
- ・歯学部では歯科医師、歯科衛生士、社会福祉士の職業選択がある
- ・歯科医院に歯科衛生士がいる
- ・福祉分野に進みたい友達は歯学部のオープンキャンパスに申し込んだ

■ 疑問 [事実から問題を見出す]

- ・歯学部では歯科医師、歯科衛生士、社会福祉士すべての職業になれるのか
- ・歯学部でなぜ福祉を学ぶのか
- ・2つの学科は何が違うのか
- ・歯科医師、歯科衛生士、社会福祉士の職業は資格が必要なのか

Process

2 今までの知識をもとに解決策(仮説)を立てる

■ 仮説 [疑問に対して仮説を立てる]

- ・歯学部では歯科医師になる学科と歯科衛生士、社会福祉士になる学科がある
- ・歯科医師と歯科衛生士は歯科のことを学ぶ
- ・社会福祉士は福祉のことを学ぶ
- ・歯科と福祉には関連がある



その後、授業時間外に個別に学習課題について調査します。

1週間後、再び教室に集まり、調査した結果をグループで共有します。

そして、新しく得た知識とこれまでの知識を統合し、自分たちの仮説が妥当であったかを議論して、問題に対する最終解決策を得ます。

Process

3 解決策(仮説)を検証するための学習課題を設定する

■ 学習課題 [仮説を確かめる学習課題を設定する]

- ・歯学部の2つの学科の違いと得られる資格について
- ・お口の健康と福祉の関係
- ・歯科医師の役割
- ・歯科衛生士の役割
- ・社会福祉士の役割

このように、シナリオから事実・疑問を見出し、仮説を立て、検証のための課題設定を行い、新たな情報を収集。グループ学習・個別学習をもとに仮説を検証し、最終解決策を得るというステップを経て、学生が能動的に問題解決を図ります。

臨床教育と臨床研究の中核

医学と歯科医学が相互に連携した

最先端の研究が行われる病院で、実践的な力を身につける。

歯学部では歯学科は5年生から、口腔生命福祉学科は3年生から医歯学総合病院での臨床実習が行われています。医歯学総合病院は、日本海側の国立大学附属病院の中では医歯学を兼ね備えた唯一の総合病院であり、環日本海における歯科医療の拠点となっています。

医歯学総合病院では100人以上の教員が診療に従事し、学生、臨床研修医の教育にあたっています。

診療参加型臨床実習



本学の臨床実習では指導医の下で実際に診療に参加する「診療参加型臨床実習」を全面的に取り入れています。歯学科の臨床実習では主治医の指導の下で担当医の一人として患者さんの歯科治療に携わることで、知識・技能の習熟を図るだけでなく、医療人としてのprofessionalismを涵養します。口腔生命福祉学科の臨床実習では、歯科診療補助、予防処置、保健指導などの歯科衛生士業務を、歯科医師や歯科衛生士の指導の

下、歯科臨床の現場で実践することにより、業務への理解を深め、歯科衛生士としての知識・技能・態度を総合的に高めます。いずれの学科の実習も実際の患者さんの協力によって成り立っており、とても恵まれた環境で実習をすることができます。新潟大学歯学部に入学を希望するみなさんは、数年後に臨床実習で診療をする際に、感謝の気持ちを忘れずに、積極的に実習に取り組んでください。

新潟大学医歯学総合病院



医歯学総合病院の歯科診療部門には4系列12診療科と7つの中央診療施設があります。また各診療科には多くの専門外来があり、新潟市内はもとより遠方からも1日平均600人を超える患者さんが歯科診療のために来院しています。患者さんの数が多いことは、臨床研究や臨床技術の向上につながるだけでなく、学生の臨床教育の充実につながっています。歯科外来には140台以上の歯科ユニットが設置されており、その一部は臨床実習のために確保されています。学生は実際の歯科医師・歯科衛生士と同じ環境で実際の患者さ

んを対象とした診療に携わることにより、それまでに学んだ知識・技能を統合するだけでなく、より実践的な臨床能力を身につけることができます。近年の歯科治療は身体にやさしい材料の開発や診断技術の向上、デジタル機器の導入などにより急速に進歩しています。新潟大学医歯学総合病院では研究成果を生かした最新の歯科治療や内科も含めた複数の専門家による診療チームによる治療を積極的に行っています。

学外での訪問歯科診療

高齢者の方、障がい者の方、有病者の方などの中には通院することが困難な人もいるため、病院外での歯科医師・歯科衛生士の役割が重要になってきています。このようなニーズに対応するため、臨床実習中の学生を対象に在宅医療や訪問医療の見学実習を行っており、その方法や重要性を学ぶことができます。ほかにも、高等学校での歯科検診や保健福祉センターでの地域歯科保健指導など、病院外でも多くの方々の協力のもと、実習を行っています。



国際感覚を養い、

グローバル社会で活躍する人材へ。

異なる言語、文化、環境と交わり、さまざまな経験を積みながら、国際感覚を養います。

海外の歯科大学などへの留学は、またとない絶好の機会です。



短期海外派遣プログラム

新潟大学歯学部では在学中の国際交流を重点的に推進しており、その一つが短期海外派遣プログラムです。このプログラムでは他国のさまざまな大学や機関が受け入れ先となり、希望した学生を2週間程度派遣します。派遣先では国や地域の特性を活かしたさまざまなプログラムが用意されており、日本とは異なる環境で貴重な体験をすることができます。若いうちに外国で学び、異文化を知ること大きく見聞を広げる絶好の機会となります。ぜひ新潟大学歯学部への入学と同時に国際人への第一歩となるチャンスをつかんでください。

■ 2023年度 派遣実績

・タマサート大学 / タイ	4名	・ハノイ医科大学 / ベトナム	4名
・チェンマイ大学 / タイ	5名	・ペンシルバニア大学 / アメリカ	2名
・ホーチミン医科大学 / ベトナム	3名	・マルメ大学 / スウェーデン	4名

留学生の受け入れ

短期海外派遣だけでなく、海外からの短期留学も積極的に受け入れています。来学した留学生は本学教員による講義・実習を受講するほか、日本文化や新潟の食を楽しんでいます。留学生との交流は国際交流サークルNEXUSに所属する学生が中心となり、市内観光案内などが積極的に行われています。また大学院医歯学総合研究科には、世界各国から多数の外国人留学生が在籍しており、新潟で最新の歯科医学を学びながら、口腔生命科学の研究に励んでいます。

教員の海外派遣・

外国人教員の受け入れ

歯学部には研究や研修のためにアジア諸国や欧米各国に留学をする教員も多数います。留学先で歯学教育や歯科研究を学び、帰国後には海外で得た経験を本学部の教育や研究に活かしています。また、海外で開催される国際学会やシンポジウムで研究成果を発表したり、国際誌に論文を投稿するなど、積極的に活動している教員も多数います。歯学部には外国人教員が在籍しており、海外での保健・医療・福祉の事情を学ぶことができます。また外国人教員による語学教育では、日常会話だけでなく、医療に関する専門的な表現を学ぶこともできます。

NEXUSのBlogも
ご覧ください

[http://dentniigatauniv.
blog.fc2.com/](http://dentniigatauniv.blog.fc2.com/)



協定締結校

●インド / セイブエサ大学 ●インドネシア / ガジャマダ大学、マラナタクリスチャン大学、インドネシア大学、アイルランガ大学、メストボ大学、トリサクティ大学、ハントゥア大学、スマトラウタラ大学、ハサスディン大学、アンダラス大学 ●スリランカ / ペラデニア大学 ●タイ / バヤオ大学、コンケン大学、タマサート大学、チェンマイ大学、マヒドン大学、スラナリー工科大学、チュラロンコン大学、プリンスオブソンクラ大学、ナレースワン大学 ●大韓民国 / 延世大学、安東科学大学、ソウル大学 ●中華人民共和国 / 昆明医学院、吉林大学、香港大学、湖北医科大学、上海第二医科大学 ●台湾 / 国立陽明交通大学、国立台湾大学、台北医科大学、高雄医学大学 ●バングラディッシュ / ダッカ大学、BSM医科大学、ユニバーシティ歯科大学、シティ歯科大学 ●フィリピン / フィリピン大学、マニラ・セントラル大学、イースト大学 ●ベトナム / ホーチミン医科大学、ハノイ医科大学 ●ネパール / カトマンズ大学、トリブバン大学 ●マレーシア / マラヤ大学 ●ミャンマー / ヤンゴン歯科大学、マンダレー歯科大学 ●ニュージーランド / オタゴ大学 ●アメリカ合衆国 / ワシントン大学、カリフォルニア大学サンフランシスコ校、ペンシルバニア大学、イリノイ大学シカゴ校 ●カナダ / トロント大学、プリティッシュコロンビア大学 ●ブラジル / ノヴァファビ大学、サンパウロ大学 ●ペルー / 南部科学大学 ●メキシコ / コアウイラ自治大学 ●英国 / クイーンズ大学ベルファスト ●デンマーク / オーフス大学 ●スウェーデン / マルメ大学 ●ルーマニア / カロルダビラ・ブカレスト医科大学 ●ロシア / クラスノヤルスク国立医科大学、極東医科大学、パシフィック医科大学 ●パレスチナ / アルクトゥス大学

※2024年6月現在



Student's Voice

海外派遣を通して得た学び



歯学科5年
清水 香奈
SHIMIZU Kana

新潟大学歯学部は世界各国に多くの協定校があり、短期留学プログラムを通してそれらの大学を訪れ、見聞を広げることができます。私は昨年度、夏にインドネシア・アイルランガ大学のサマーコース、春にスイス・WHOとスウェーデン・マルメ大学のプログラムに参加しました。

アイルランガ大学のサマーコースでは、口腔外科の手術見学といった日本の大学の授業ではなかなかできない貴重な経験ができました。また、インドネシアだけでなく、イギリスや韓国など様々な国からの参加学生と英語で意見を交わし、文化の違い等を実際に肌で感じることもできました。

WHOではオフィサーとディスカッションを行い、マルメ大学では学生の臨床実習を見学し、日本での実習と比較して非常に興味深かったです。

このプログラムは私を歯学生としてステップアップさせてくれました。海外の学生と交流す

ることで様々な価値観を知ることができますし、今の日本を歯学生として外から見ることができるよう。これらの経験は私自身の将来の大きな糧になると確信しています。

つい最近まではコロナの影響で、国際交流をするためにはZoomなどのオンラインしか手段がないといった時期もありました。しかし、再び国境を越えて人が自由に行き来できるようになり、実際に何か物に触れ、目にしたり、人と会って交流することがいかに大切かということを改めて思い知らされました。

みなさんも新潟大学歯学部に入學して、新潟と世界の架け橋になりませんか？

歯学部長からのメッセージ /

海外留学への
いざない

新潟大学歯学部では、学部学生を対象とした短期留学制度として、ショートステイ・ショートビジット(SS・SV)事業を行っています。本事業を通じて世界への第1歩を踏み出すこと、海外で最先端の研究や歯科医療を知るだけでなく、多様な価値観を学びあう感動と興奮、そんな体験をしてみませんか。

私は、文部省(2001年からは文部科学省)在外研究員として、1999年12月から2年間にわたり英国レスター大学、2003年1月から3か月間、スウェーデンウメオ大学に留学し、咀嚼に関わる脳幹神経ネットワーク解明を目的とした神経生理学的研究を行っていました。留学生活においては、海外を知ることそのものが人生にとって大きな財産です。当たり前だと思っていた習慣や常識が通用しないなどということもしばしばです。交流を通じて相手の立場を考え、議論し、互いを理解する習慣ができたことは、その後の私の人生においても大きな糧となっています。

バーチャルとリアルマルチ展開。

新潟大学歯学部ではさまざまな歯科医学教育のニーズに対応できる充実した実習設備や教育環境が整備されています。



高精度な模型実習が可能な実習室

歯科診療室と同レベルのリアルな相互実習室



入れ歯や差し歯、矯正装置の製作実習を行う。実習機は6角形タイプ



入れ歯や差し歯、詰め物をパソコン上でデザインして3Dプリンタやミリングマシンで製作するCAD/CAMシステムを導入。最先端歯科治療の教育に取り組んでいます。



国内最大数の導入 歯科治療 トレーニングシステム

実際の歯の大きさや硬さを再現したバーチャルリアリティのトレーニングシステム「ムーグ Simodont デンタルトレーナー」を国内最大数導入しています。



臨床実習生には一人一台の技工机



学生が複数の教室に分散して安全安心な学習環境下で対面講義を受講できるように、遠隔講義システムを導入しています。



歯学科

DEPARTMENT OF DENTISTRY

歯学を
口腔生命科学として捉え、
歯学界をリードする
人材を養成する。



高い歯科臨床能力と問題解決能力をもった
歯科医師を目指す。

困難な場面に直面した時に自ら問題を解決できる能力をもち、主体的に
考えることのできる歯科医師を育てるため、
自主性と創造性を重視した実践的教育を行っています。

歯学科の教育目標

変化の激しい現代社会のなかで、患者さんの多様な価値観を受け入れ、質の高い医療を提供するために、新たな諸課題に関係者と適切に連携しながら問題解決を図っていく能力を備え、全人的医療を実践できる高い歯科臨床能力を有する人材を育成する。

■ 入学者に求める能力

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| ■ 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力 | ■ 自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする態度 |
| ■ 論理的な思考力 | ■ 相手の気持ちを親身になって理解しようとする姿勢 |
| ■ 自分の考えを適切に他者に伝える表現力 | ■ 歯学・歯科医療ならびに生命科学の研究に対する高い目的意識と学習意欲 |

カリキュラムの特色

1 学生個人の教養の育成

大学での教養教育において何が学べるのか、何を学びたいのか、なぜ学ぶのかを学生自身に考えさせる授業科目「教養を考える」を開講し、学生個々人の教養を涵養することに努めています。また、教養科目の履修指定を最低限とし、学生が科目を自由に選択できるようにしています。

2 入学後早期からの臨床実習の実施

入学直後の1年次から医療現場を体験する実習や病院における歯科治療の第一線にふれる「早期臨床実習I」を実施し、学習に対するモチベーションの高揚をはかり、将来の歯科医師としての自覚を芽生えさせます。

3 教育の体系化とアクティブラーニング

教育分野単位の講義・実習に加え、分野横断的な統合科目の開講により、各分野で修得した知識・技能の統合、活用を目指します。また、問題解決型学習法（Problem-Based Learning）をはじめとするアクティブラーニングを積極的に取り入れ、課題解決能力を涵養します。

4 社会環境への対応

情報化・グローバル化に対応するため、情報検索や情報倫理の教育に力を入れるほか、語学や国際保健に関する科目を開講して、国際的に活躍する人材の育成にも力を入れています。一方で近年求められている多職種連携や地域包括ケアをはじめとする地域歯科保健についても見学実習などを通して学ぶことができます。

5 授業科目の一部選択制

必修科目のほかに、選択制の科目を開講しています。研究に興味のある学生は研究室に配属されて教員と共に研究をする研究科目を、国際的な活動に興味のある学生は短期間の海外派遣プログラムに参加する留学科目を選択でき、意欲と興味に基づいて多様な経験をすることができます。

6 診療参加型実習と歯科臨床能力の担保

歯科医師として必要な基礎的臨床能力を育成するため、指導教員の下で実際の歯科医療を行う診療参加型実習を充実させています。学生が日々の実習で記載したポートフォリオでの指導と評価を受けるとともに、実際の患者診療を指導教員が評価することで歯科臨床能力の担保がなされます。



歯学部歯学科では、情報化・グローバル化などの現代ニーズに対応するため、情報リテラシー教育や外国語教育を拡充するとともに、新たな諸課題に関係者と適切に連携しながら問題解決をはかっていく能力を育成するため、少人数による問題解決型学習法（Problem-Based Learning）を導入しています。

また、効果的な学習のため、専門科目の統合・再編成を行い、密度の高いバランスのとれた講義・実習を行っています。



※ 2024年4月現在

		教養	語学	学習法 研究法	基礎歯学	臨床歯学	知識・技能 の統合	医療人	国際人
医療系大学間共用試験実施評価機構による臨床実習の評価としての共用試験（CPX・CSX）									
6 年 次	第4期 歯科医療の 実践と 自己省察						模型・ シミュレーション 実習2	診療参加型 臨床実習	
医療系大学間共用試験実施評価機構による臨床実習前の共用試験（CBT・OSCE）									
5 年 次							模型・ シミュレーション 実習1	臨床予備 実習	
4 年 次	第3期 臨床歯学の 学習と知識・ 技能の統合			教室配属 研究 （選択）		分野単位の 講義・実習	PBL2	社会と 歯学	短期海外 派遣 （選択）
3 年 次	第2期 基礎歯学の 学習と歯科医師 としての自覚			歯学 研究法			PBL1	医療倫理 早期臨床 実習2	
2 年 次				大学 学習法2	分野単位の 講義・実習		PBL入門	地域歯科 保健	国際歯科 保健
1 年 次	第1期 主体的な学習 への転換と 教養の涵養	2年次編入学							
				大学 学習法1	専門基礎			早期臨床 実習1	

卒業後の進路

6年次の1月に歯科医師国家試験を受験し、これに合格すると歯科医師免許を取得することができます。歯科医師免許取得後は、大学で修得した知識・技能・態度をより高度なものにするため、1年間の歯科医師臨床研修を受ける必要があります。新潟大学医歯学総合病院でも充実した研修プログラムが用意されており、1年間の研修で担当する患者さんの総数は全国でもトップクラスです。

臨床研修修了後はさまざまな分野に進出し活躍をしています。病院や歯科診療所に勤務するほか、大学院に進学して研究を行ったり、より高度な専門医療技術を修得する人もいます。また、歯科医師として勤務しながら、社会人大学院生として学位の取得を目指す人もいます。ほかにも公衆衛生などの医療行政に携わったり、学んだ知識・技能を生かして海外で活躍している卒業生もいます。

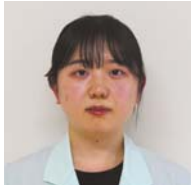
1・2 年次

初年次には五十嵐キャンパスで他学部の学生とともに教養教育に関する授業科目や情報リテラシーなどの大学での学習法を学ぶとともに、医歯学総合病院で歯科治療の現場を体験します。2年次になると学習と生活の場はすべて旭町キャンパスへ移り、学習法の発展などのアクティブラーニング科目に加え、専門的な科目として解剖学、生理学、生化学、薬理学、微生物学、理工学などが開講され、口腔生命科学を学ぶための基礎知識・技能を修得します。



Student's Voice

新潟大学歯学部で 学べること



歯学科6年
荒井 友茉
ARAI Yuma

新潟大学歯学部歯学科は臨床実習に力を入れており、5年生の後期から約1年間行われる診療参加型実習が大きな特徴です。他にも、1年生から始まる早期臨床実習や、医療人として必要な問題解決能力を養うPBLなど、他の大学にはない特色ある実習・講義がたくさんあります。

1年次では五十嵐キャンパスで教養科目を学習し、週に1回旭町キャンパスで早期臨床実習があります。どのような診療が行われている

3・4 年次

講義のみではなくPBLなど教員により工夫された専門教育に関する科目を学ぶとともに、治療技術を習得する模型実習が始まります。模型実習は少人数のグループごとにインストラクターが配置され、丁寧な指導が行われます。また、全国に先駆けて導入したコンピューターシミュレーションシステムを用いた実習を行い、実際に病院で患者さんの治療にあたる前に、より実践的な実習を経験することができます。



5・6 年次

実際の歯科臨床で遭遇するさまざまな疾患を統合的に診断治療していくために必要な理論・技術を学びます。5年次の前半には臨床予備実習と総合模型実習が始まり、実際の臨床現場に出るため、それまでの知識・技能を統合します。5年次の後半から約1年間かけて行う臨床実習では指導教員の下で実際の患者さんを相手にして実習が進められ、歯科医師として必要な基本的技術の習得、心構えなどを学びます。



のか見学するだけでなく、歯のクリーニングや型取りをしてもらうことで患者さんの体験ができ、早い段階から歯科医療の現場を体験できます。

2年次は基礎科目を学習します。3年次には本格的に歯科に関する実習が始まります。3年次前期に行われる解剖学実習では、ご遺体を解剖させていただくことで人体の構造を学習し、医療に携わる人間となる自覚が芽生えます。後期からはマネキンを使用し、被せ物や虫歯治療の実習、4年次には入れ歯や歯周病治療の実習があります。実習を通して治療の特技を身につけると、5年次には総合模型実習という実習で、一口腔単位の治療計画を立案し、マネキン上で計画通りに治療をします。ここでは口腔内にさまざまな問題を抱えた患者さんに対して、どの順番で治療するのか、なぜその治療方針を選んだのかなど、教科書的な知識をより臨床に結びつけることができます。

そして、5年次後期からはいよいよ臨床実習

が始まります。ここでは学生が患者さんの担当歯科医師として、治療方針・計画の立案、治療を行います。学生でありながら歯周病、入れ歯、被せ物、虫歯さらには抜歯など多くの治療を経験することができます。この臨床実習は、患者様のご協力と先生方の熱心な指導のもと成り立っており、このような恵まれた環境で実習ができることは新潟大学歯学部の大きな特徴です。

勉強や実習だけでなく、サークルや部活、イベントも充実しています。部活は歯学部の学生だけでなく、医学部の学生や他大学との交流もあります。またイベントとして歯学部運動会や医歯学祭があります。

新潟大学歯学部歯学科は歯科医師を目指すには素晴らしい環境です。学生のうちから診療に参加させていただけるのは、歯科医師として必要な知識や技術を身につけるために多くのメリットがあると思います。皆さんもぜひ新潟大学歯学部に入學し、充実した大学生活を送ってみませんか。

口腔生命福祉学科

「食べる」ことの視点から、あらゆる人のQOL（生活の質）の向上を追求できる人材を養成する。



歯科衛生士と社会福祉士という2つの資格を取得し、保健・医療・福祉を総合的にマネジメントできる専門家を目指す。

「おいしく安全に食べる」ために必要となる保健・医療・福祉サービスを総合的に受けられる社会を創るため、専門知識・技術と問題解決能力を育みます。

口腔生命福祉学科の教育目標

変化の激しい現代社会のなかで、国民の多様な価値観を受け入れ、質の高い保健医療福祉サービスを提供するために、新たな諸課題に関係者と適切に連携しながら、問題解決を図っていく能力を備え、口腔保健・歯科医療・福祉を総合的に思考・展開できる能力を有する人材を育成する。

■ 入学者に求める能力

- | | |
|----------------------|--|
| ■ 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力 | ■ 自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする態度 |
| ■ 論理的な思考力 | ■ 相手の気持ちを親身になって理解しようとする姿勢 |
| ■ 自分の考えを適切に他者に伝える表現力 | ■ 口腔の健康増進を基盤とした保健・医療・福祉に対する高い目的意識と学習意欲 |

カリキュラムの特色

1 早期からの現場の見学・体験実習

1年次には実際の歯科医療の臨床現場を見学・体験する「早期臨床実習1B」が行われ、今後の学習へのモチベーションを高めます。2年次・3年次には学外での見学実習が行われ、実際に歯科衛生士・社会福祉士が活躍する現場を見学することで、2つの職に対する理解を深めることができます。

2 PBL中心のアクティブラーニング

口腔生命福祉学科の専門科目の多くで問題解決型学習（Problem-Based Learning）を取り入れており、学生が主体的に学習に取り組めるようになっています。これにより、自ら知識を習得するとともに、保健・医療・福祉などのさまざまな場面で実践できる課題解決能力を涵養します。

3 情報化・グローバル化社会への対応

大学学習法で情報リテラシーを学ぶほか、PBLや口腔保健福祉特論では自主学習のなかで情報検索・収集して問題解決を目指します。グローバル化社会へ対応するため、希望する学生は短期海外派遣プログラムに参加し、国際口腔保健について考えることができます。

4 臨床実習と社会福祉現場実習

3年次の後半から始まる歯科衛生士臨床実習では、病院での実習を通じて、それまでに修得した口腔保健関係の知識・技能・態度をより実践的なものに昇華させます。また社会福祉現場実習では3年次と4年次の計1か月半、実際の福祉施設での実習を通じて、福祉の現場を理解するとともに、ソーシャルワーカーとして必要な知識・技能・態度を身につけます。

取得できる受験資格について

歯科衛生士

歯科診療所や病院の歯科口腔外科などで患者さんに対して、歯石除去や口腔保健指導、歯科診療の補助を行う歯科専門職です。ほかにも保健所・保健センターで予防処置や歯科相談・指導に従事する人もいます。歯科医療が予防中心に変化するなかで、歯科衛生士の活躍の場はますます広がっています。

社会福祉士

行政や社会福祉・介護施設などで、福祉の相談や指導・助言を行う福祉専門職です。病院などで入院患者さんなどのさまざまな相談・支援を行うメディカルソーシャルワーカーとして従事する人もいます。高齢化により多様な支援を必要とする人が増加しているため、社会福祉士はより重要な仕事となっています。



超高齢社会を迎える日本では、食えること、飲み込むことに障害をもつ方が増加しています。また、口の中を清潔に保ち、口腔機能を維持向上することが、全身の疾患予防・健康の改善につながることが明らかになり、口腔ケアに対する関心は高まっています。こうした社会ニーズに対応できる専門家の養成のため、口腔保健学と福祉学の両方を学び、すべての学生が歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家試験受験資格を取得する全国唯一のカリキュラムを提供します。



※ 2024年4月現在

		教養	語学	学習法 研究法	口腔 保健学	福祉学	問題解決	保健福祉 医療人	統合的 学習	国際人
4 年次	全期 個人および社会の 視点からみたオーラル ヘルスプロモーションの実践					講義・実習		社会福祉 現場実習2	口腔保健 福祉特論	
					PBL 臨床歯科学4		臨床実習3/ 訪問歯科診療			
3 年次	後期 高齢者・障害者の理解 と対応				講義・実習		PBL 臨床歯科学3、 高齢者福祉総論、 障害者福祉総論	臨床 実習2		短期海外 派遣 (選択)
	前期 進行した歯科疾患の 診査・処置・予防／社会 福祉と社会保障の 理解			PBL 臨床歯科学2、 社会保障入門、 児童福祉総論			社会福祉 現場実習1	臨床 実習1		
3年次編入学										
2 年次	後期 軽度な歯科疾患の 診査・処置・予防				講義・実習		PBL 歯科衛生学、 臨床歯科学1			
	前期 口腔の重要性理解と 歯科医療従事者として の自覚		社会 調査法	PBL 臨床歯科学演習、 人体のしくみ、 口腔の科学			医療倫理 早期臨床 実習2B			
1 年次	全期 大学学習法と人としての成長			大学 学習法	専門基礎			早期臨床 実習1B		

1・2年次

3・4年次

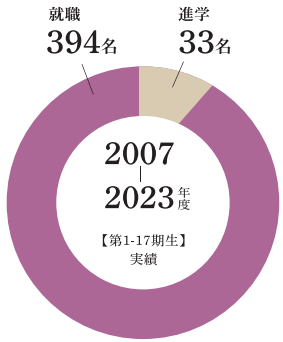
1年次には五十嵐キャンパスで他学部の学生とともに教養教育に関する授業科目を中心に履修するほか、大学学習法や早期臨床実習を旭町キャンパスで履修します。2年次になると旭町キャンパスで、講義、問題解決型学習（Problem-Based Learning）、実習を組み合わせながら、歯科衛生士として必要な口腔保健関係科目が開講されます。

口腔保健関係科目に加え、社会福祉士として必要となる福祉関係の授業科目が開講され、講義、PBL、実習、演習により学習します。また3年次の後半からは医歯学総合病院や学外の福祉施設での実習も始まります。4年次になると医歯学総合病院で実際の患者さんの治療に携わる臨床実習と学外の福祉施設で業務を体験する社会福祉現場実習が行われます。

卒業後の進路

4年次の2月に社会福祉士国家試験、3月に歯科衛生士国家試験を受験し、合格するとそれぞれの国家資格が与えられます。口腔生命福祉学科の卒業生は、取得した2つの資格を活かして、保健・医療・福祉を中心としたさまざまな分野で活躍しています。

主な就職先としては、病院や歯科診療所の歯科衛生士、都道府県や市区町村などの行政における福祉職や歯科衛生士、病院等におけるソーシャルワーカー、社会福祉施設の生活相談員などが挙げられます。また、大学院に進学して口腔保健学、福祉学の研究を志すこともできます。



過去5年間の進路

	就職					進学	
	病院	歯科診療所	行政	福祉施設・団体	その他	大学院	その他
2019	6	9	4	0	3	2	0
2020	4	11	7	0	1	0	0
2021	7	3	9	1	1	0	0
2022	5	11	3	4	0	1	0
2023	7	9	5	0	2	2	0



Student's Voice

口腔生命福祉学科で学べること



口腔生命福祉学科4年
大関 みちる
OHZEKI Michiru

口腔生命福祉学科の1番の特徴は歯科と福祉の2つの分野を学べることです。歯科と福祉は別分野のように思えるかもしれませんが、深刻化する高齢社会の中では切っても切り離せない関係です。2分野を学ぶことで、幅広い知識や視点を持った歯科衛生士・社会福祉士に

なれることができると考えられます。

入学してからの4年間についてご紹介します。1年次には五十嵐キャンパスで教養科目を学び、2年次から旭町キャンパスに移り専門科目を学びます。その中でも本学科の特色の一つであるPBL（問題解決型学習）が始まります。グループ討議や自己学習を通して、主体性・協調性・積極性など様々な能力を身に付けていきます。また、模型を用いた基礎実習や学生同士で行う相互実習など、本格的に歯科の技術も学び始めます。3年次では講義や相互実習に加え、外来での臨床実習や幼稚園での歯科保健指導などの実習を行います。さらに福祉分野の講義が始まります。学校での講義以外に、施設見学や外部講師の方の講義、約1週間の福祉実習があり、福祉の基礎的な知識から実際の現場の様子まで幅広く学びます。4年次は、約半年間の臨床実

習と約1カ月間の福祉実習を行います。歯科福祉共に長期間の実習ですが、机上の勉強だけでは学ぶことのできない知識や技術が多く貴重な経験となります。日々学ぶことが多いので、自分自身の成長を感じる機会でもあります。

学業以外では、歯学部は活発な部活動やサークル活動、運動会などのイベントが充実しているのも魅力です。私自身、この4年間でアルバイトやボランティアを経験したり、友人と旅行したりと学業以外も充実した大学生活を送ることができました。

口腔生命福祉学科での4年間は大変なこともあります。学科のみんなと互いに切磋琢磨しながらいい影響を与え合える環境で毎日楽しく過ごすことができます。受験生の皆さん、是非、口腔生命福祉学科で充実した4年を過ごしてみませんか。



キャンパスライフ

CAMPUS LIFE

好きなことに熱中できる課外活動で
学生生活を充実。

クラブ活動

運動部

スキー部

バレーボール部

卓球部

弓道部

バドミントン部

剣道部

ゴルフ部

硬式テニス部

軟式テニス部

軟式野球部

バスケットボール部

サッカー部

水泳部

陸上競技部

空手道部

文化部

軽音楽部

茶道部

合唱部

国際交流サークル

地域・国際歯科保健サークル



イベント

歯学部は講義・実習に追い回されるのでは?と思っている人も少なくないでしょう。確かに、学生たちは歯学部の6年間ないしは4年間の生活でいろいろな知識、技術、態度を勉強しています。忙しい中でも、学生が主体となり企画、実施しているイベントがいくつかあります。

歯学部歯学科の一学年は約40人、口腔生命福祉学科は約20人です。高校の1クラスとほぼ同じか、その半分の人数で、大学教育としてはきわめて少人数の単位なのです。想像してみてください。クラスが一致団結して、目標に向かう姿を。



幅広い人間関係の形成

歯科医療は高い技術があるだけでは失格です。豊かな人間性が求められます。学生時代にクラブ活動をして、沢山の友人を作り、人間性を養いましょう。歯学部の学生の多くは複数のクラブ活動に参加し、学生生活を実りあるものになっています。

全学のクラブ・サークル

新潟大学は1万人以上の学生が学んでいる総合大学であり、全学的なクラブ・サークル活動も盛んです。活動の中心は五十嵐キャンパスですが、歯学部の学生もちろん参加することができます。さまざまな学部の学生と交流し、豊かな人間性を養ってください。

全日本歯科学学生総合体育大会

全国29歯科大学・歯学部の学生による全国規模の体育大会で、25種目に約1万人の歯科学学生が参加します。冬季部門3種目、夏季部門22種目で、部門優勝と総合優勝を競います。新潟大学歯学部の各運動部も毎年参加しています。

歯学部運動会

例年、5月下旬の土曜日に歯学部運動会が学年対抗で開かれます。学生の学生による学生のための運動会ですが、各学年ごとのチームに教員も参加し、優勝を目指します。

医歯学祭

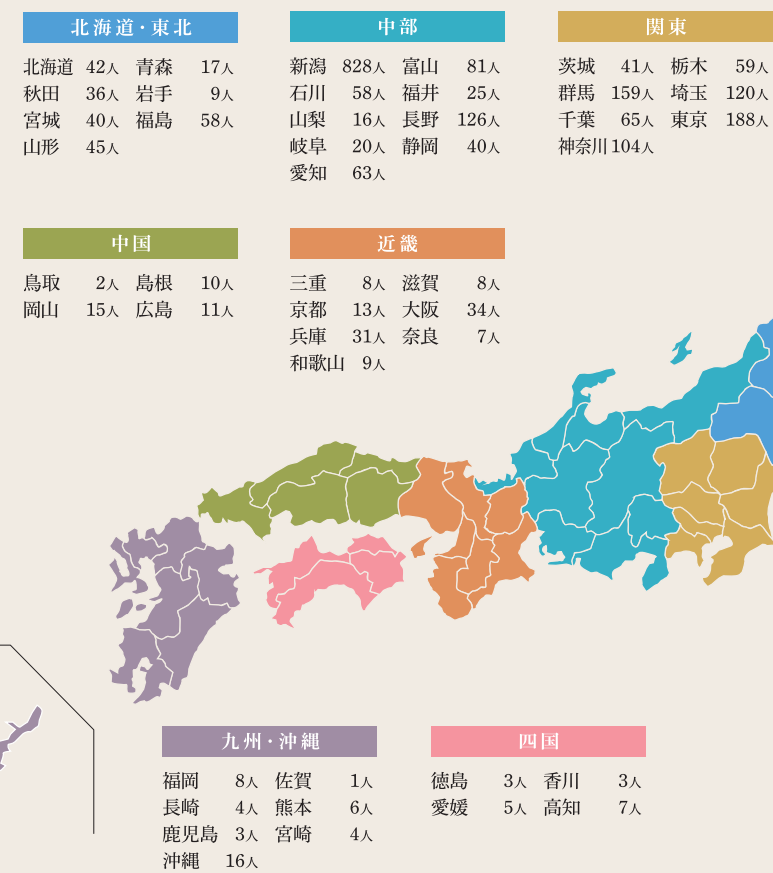
医学部・歯学部の文化祭で、10月下旬の土・日に旭町キャンパスで行われます。さまざまな団体による模擬店の出店や、病院の教員協力による無料歯科相談、各文化部の発表、著名人を招いた講演会などいろいろな企画が行われます。

進路情報

各地で活躍する卒業生

新潟大学歯学部卒業生は2024年3月末で約3,180名に及び、新潟県のみならず、全国各地や海外で、さまざまな分野で活躍しています。新潟大学のみならず、他大学で教育、研究、診療にあたっている卒業生も数多くいます。

卒業生の勤務地



教授に就任した者

計70名 ※延べ人数、2024年3月31日現在

新潟大学	26名
松本歯科大学	9名
東京医科歯科大学	3名
新潟医療福祉大学	3名
日本歯科大学新潟生命歯学部	3名
明倫短期大学	4名
北海道大学	3名
北海道医療大学	2名
岩手医科大学	2名

朝日大学、国際医療福祉大学、滋賀医科大学、信州大学、鶴見大学、長岡大学、新潟リハビリテーション大学、日本歯科大学、日本大学松戸歯学部、梅花女子大学、浜松医科大学、広島大学、藤田保健衛生大学(現 藤田医科大学)、防衛医科大学校、明海大学 各1名

同窓会会長からのメッセージ

有松 美紀子
新潟県胎内市開業
歯学科 1984年卒業

新潟大学歯学部同窓会長の有松美紀子です。(歯学科14期生)
本学は1965年に日本海側初の国立大学歯学部として新設され、その6年後に第1期生33名(女性2名)が卒業し、同窓会活動が開始され、現在まで歴史を積み重ねて参りました。

現在では、歯学科の半数、口腔生命福祉学科の9割が女性ですから、歯学部の1学年の2/3は女性が占めています。
2022年には同窓会創立50周年記念式典・祝賀会を盛大に同窓生一同でお祝いできましたことに感謝申し上げます。

令和6年3月に歯学科54期生、口腔生命福祉学科17期生をお迎えして、同窓生数は、計3,183名になりました。すべての同窓生のお名前は、各期ごとにネームプレートに刻印し、学部4階の渡り廊下に掲示してありますので、学部にお越しの際にはぜひ、ご覧ください。

歯学科の卒業生は、開業医、勤務医、行政や施設の職員として専門の技術、知識、情報を生かして従事しています。国内だけでなくWHOや海外でも活躍する先生もいます。

同窓生の教授数は現時点では70名になりました。本学だけでなく国内の多数の大学で歯科臨床、歯科医学、歯科教育に大きな業績を残しています。また、春と秋の叙勲受章者は、8名であり同窓生の誇りとなっています。

口腔生命福祉学科の卒業生は、歯科衛生士の資格を生かして診療所、研究所、病院、大学病院、行政や施設等に勤務しています。また、社会福祉士の資格を生かして大学、施設、行政等に於いて活躍しています。

私たち同窓生は日々、社会貢献に努め、同窓生間の交流を行ない、新潟大学や歯学部の発展に寄与するとともに歯学部生のキャンパスライフを支援しています。歯学部の学生は当会の「学生会員」となります。学生会員向けとして次のようなサービスを実施しています。

① 医歯学祭や歯学部運動会への助成
② 学業や部活動における優秀者への表彰
③ SCRP(全国の歯学部学生の研究発表会)等への援助
④ 卒業記念品贈呈、各期ごとのネームプレート作成(学部4階の渡り廊下に設置)
⑤ 最終学年時に同窓会の説明会・懇親会開催(世代を超えた同窓生との交流)
⑥ その他 学部改修時に学生用机と椅子を寄贈しました。今後も必要に応じて支援していきます。

「口腔の健康が健康寿命延伸に寄与する」ということが国民に周知されてきました。私たちと一緒に歯学部で学んだことを生かして社会貢献していきませんか。お待ちしております。

入試案内

新潟大学歯学部ではわれわれとともに21世紀の歯科医療を担う優秀な人材を広く募集しています。

本学部の入学者選抜には主に以下の3つの選抜があります。その他に、私費外国人留学生や帰国生徒を対象とした特別選抜(歯学科)、歯学科第2年次編入学試験および口腔生命福祉学科第3年次編入学試験も実施しています。

学校推薦型選抜		
歯学科	[定員8名]	出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト、小論文および面接試験を総合的に判断して合格者を決定します。この方法で出願できるのは高校3年生だけです。 小論文および面接試験は11月下旬に新潟大学歯学部で実施します。
口腔生命福祉学科	[定員5名]	
一般選抜（前期日程）		
歯学科	[定員24名]	大学入学共通テスト、個別学力検査及び面接試験の成績を総合的に判断して合格者を決定します。 個別学力検査および面接試験は2月下旬に新潟大学歯学部で実施します。
口腔生命福祉学科	[定員15名]	
一般選抜（後期日程）		
歯学科	[定員8名]	大学入学共通テストと面接試験の成績を総合的に判断して合格者を決定します。 面接試験は3月中旬に新潟大学歯学部で実施します。

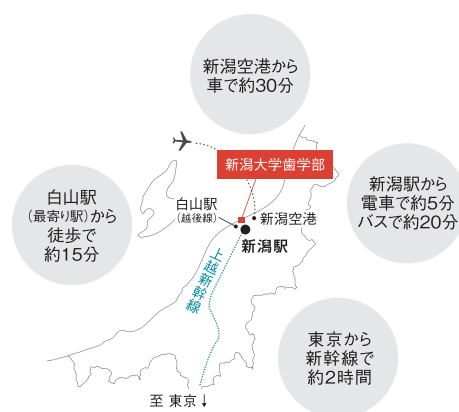
※なお、各選抜試験の募集人員および入試科目などは変更される可能性があります。詳細は募集要項を参照してください。

2024年度入試実施状況

学科		学校推薦型選抜	一般選抜(前期日程)	一般選抜(後期日程)
歯学科	募集人数	8名	24名	8名
	志願者	27名	113名	136名
	倍率	3.4倍	4.7倍	17.0倍
口腔生命福祉学科	募集人数	5名	15名	—
	志願者	15名	31名	—
	倍率	3.0倍	2.1倍	—

入学試験に関するお問合せ

新潟大学医歯学系歯学部事務室学務係 TEL. 025-227-2798・2799
〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
e-mail : gakumu@dent.niigata-u.ac.jp URL : <https://www.dent.niigata-u.ac.jp>



ACCESS



新潟駅からバスに乗る場合

新潟駅前(万代口)から、市内バス「新大病院線」に乗りし、約20分で到着します。時間によっては新潟駅前(万代口)から、「萬代橋ライン」「信濃町線」「有明線」「西小針線」などに乗り、「市役所前」で下車してください。



高速道路を利用する場合

北陸自動車道新潟西インターチェンジまたは、磐越自動車道新潟中央インターチェンジで高速道路を出て、新潟バイパスに入り、桜木インターチェンジで降ります。昭和大橋方面に直進し、約10分で到着します。



JRを利用する場合

新潟駅で越後線に乗り換え、一つ目の「白山駅」下車、徒歩約15分です。なお、白山駅前広場から「萬代橋ライン」をご利用頂けます。(「市役所前」で下車。所要時間:約3分)



飛行機を利用する場合

新潟空港からタクシーに乗り、約30分です。

新潟大学歯学部

Faculty of Dentistry Niigata University

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
TEL.025-223-6161(代表)

[歯学部] <https://www.dent.niigata-u.ac.jp>

